

井田病院新病棟の全面開院（平成27年4月）



井田病院は、昭和24年に結核・伝染病院として開院し、その後も診療科目を増やしながらか市民の医療・健康を支えてきました。平成10年からは緩和ケア病棟を設置し、平成18年には国から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、川崎南部医療圏の中核病院として、患者の増加が予想されるがんなどの成人疾患医療、救急医療などを担ってきましたが、施設の老朽化が著しく、建て替えが求められていました。

平成24年5月1日には、井田病院改築工事の1期工事が終わり、新病棟が一部開院していましたが、このたび2期工事が終わり、全面開院いたします。

<議会での審議経過と市の取り組み>

【平成24年第2回定例会（6月）】

質問

井田病院の患者サービスの向上についてですが、平成22年度に実施した患者満足度調査のうち外来診療については、「非常に満足」、「満足」との回答が合わせて81%と、当時の目標値の85%に届いていません。今年度の目標値は90%に設定されているとのことですが、目標達成に向けての具体的な取り組みについてお聞きします。

答弁

患者満足度の向上に向けましては、満足度の低い要因の一つである駐車場の少なさへの対応のほか、職員のコミュニケーション能力の向上を図るため接遇研修を実施し、総合受付には案内係であるコンシェルジュを設置し、患者さんに積極的にお声がけをしているところです。今後も患者サービスの向上に努めていきます。

取り組みとしては・・・

平成24年5月からのコンシェルジュの配置や外来待合表示盤、順番検索端末の設置に加え、

●新たに総合受付や外来待合スペースを巡回する専任の看護師1名を配置し、患者さんの案内や医療に関する質問にも対応しています。コンシェルジュ等の案内係は、制服やエプロン、腕章をつけたり、案内板を表示するなどして患者さんに分かりやすい工夫をしています。

●自動精算機が苦手な方のために、新たに有人の外来会計窓口を設置しました。

●収容台数約150台程度の立体駐車場を現在建設工事中です。



【平成24年第2回定例会（6月）】

質問

国の示した新がん対策推進基本計画には、大きな取り組みの一つとして緩和ケアが挙げられています。緩和ケアは、がん患者やその家族に対し、終末期だけではなく、苦痛に対する早期介入・予防によりすべての経過にわたって生活の質の向上を目指すものです。本市の公立病院での取り組みをお聞きします。

答弁

井田病院では、がん相談支援センターに県内初のがん看護専門看護師を配置し、がん治療に関する情報の提供や療養上の相談、患者さん同士の語り合う場を設置するなどの支援を行っています。今後も医療従事者の確保と研修医の育成に努め、引き続き質の高い医療を提供していきます。

取り組みとしては・・・

- 平成25年度から緩和ケア外来を担当できる医師を増やすなどし、初診外来の予約状況が、2か月程度お待ちいただいていた頃から比べ、1か月程度に改善しています。
- 改修工事により緩和ケア病床を3床増やし、23床としました。
- 医療従事者向けの緩和ケア研修会を開催し、医療人材の確保や育成に取り組んでいます。



【改修工事後のケアセンター内の様子】



【ケアセンターの新しい病室】

【平成25年第2回定例会（6月）】

質問

医学の進歩により、遺伝子検査でがん罹患、発症する確率が分かるようになりました。家族にがん患者がいる方が遺伝子検査の結果により、予防のために手術に踏み切って、切除によりがん罹患する確率を大幅に減らすことができたというニュースには、世界で話題になりました。井田病院で、遺伝子検査が受けられるような相談外来の設置が必要ではないでしょうか。

答弁

遺伝子検査は今後、市民の方々から相談や問い合わせが増加することが考えられます。井田病院は地域がん診療拠点病院として再編整備中ですが、高度専門医療の更なる充実にもつながりますので、相談外来の設置は、臨床遺伝専門医を中心に課題を整理し検討していきます。

取り組みとしては・・・

平成26年4月4日、井田病院では家族にがんにかかった人が多くいる場合など、遺伝的な問題をお持ちの方への相談窓口として、「家族性腫瘍相談外来」を開設しました。自分のがん家系ではないかと不安をお持ちの方へ、カウンセリングや必要に応じて遺伝子検査を行うなど問題を解決するお手伝いをしています。



【家族性腫瘍相談外来の受付】

【平成26年第2回定例会（6月）】

質問

市立病院における地域がん診療連携拠点病院の機能強化についてお聞きします。

答弁

拠点病院である井田病院では、がん等の高度で特殊な医療の充実を図るため再編整備を進めており、抗がん剤治療を行う外来化学療法室や手術室の増設など、来年の春に予定している新棟の全面開院に向けて取り組みを進めているところです。

【平成26年第2回定例会（6月）】

質問

救急搬送件数についてですが、この5年間のデータでは、新生児から成人まで全ての世代で減少している一方で、高齢者については4,113人も増加しています。がん医療は高齢者と深く関わっているとも言われますが、今後予想される高齢者対応についてお聞きします。

答弁

井田病院では、来年の春に全面開院する新棟におきまして、外来化学療法室やがん検診、救急室の拡充など、地域がん診療連携拠点病院、救急指定病院として、より一層の機能の充実を図ってまいります。

取り組みとしては・・・

平成27年4月の井田病院全面開院により、次の新たな機能が運用開始されます。

●救急センター：重症処置室1室、中等症対応処置ベッド2床等の診療スペースや、CT検査室等を隣接整備し、1階の限られたスペースで検査が完結できるようになりました。また、搬送時に濡れないよう救急車3台分の屋根付駐車スペースを完備しました。

●内視鏡センター：検査ブースをこれまでの3室から6室へ増設するとともに、消化管はほぼ全ての内視鏡診断・治療が可能となり、膵胆道系内視鏡も充実しました。また、スタッフドクターの増員により、咽頭・喉頭及び十二指腸の早期がんに対する治療が充実しました。

●化学療法センター：化学療法室から名称を変え、待合や説明用ラウンジ、治療ベッド12床、リクライニングチェア型ベッド8床、個室3室を整備しました。また、治療による苦痛を少しでも和らげようと、室内は木目調の色合いや心地よい音楽等による癒しの空間を演出しています。



【救急センター受付】



【内視鏡センター】

井田病院新病棟の全面開院

みなさまには長い間、ご不便をおかけしましたが、井田病院改築工事の2期工事が終わり、市民により利用しやすい病院として、平成27年4月に新病棟が全面開院します。

- ◆所在地 川崎市中原区井田 2-27-1
- ◆交通アクセス 川崎駅西口、武蔵小杉駅、武蔵新城駅、元住吉駅、宮前平駅、日吉駅から路線バス。また、武蔵小杉駅北口から井田病院患者送迎用シャトルバス（無料）も運行中。
- ◆ホームページ 井田病院のホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/ida/index.html>
- ◆電話番号 044-766-2188